

## 新たな行財政計画（新プラン）の策定について

### 1 考え方

- これまでの継続的な行財政改革の取り組みを通じ、一定の経済見通しの下、財政再建の道筋は見えつつあるが、直面する3か年については、730億円～200億円の単年度要対応額が見込まれるなど、依然厳しい状況にある。
- 一方、人口構造はじめ府を取り巻く状況が大きく変化していくなか、新たな課題にも的確に対応していくためには、マネジメント改革や新たな発想・視点による事業展開などを軸に、自律的な行財政運営への転換を図る必要がある。
- このため、今後の行財政改革の基本方針を柱とする新たなプランを策定し、引き続き全庁をあげて改革に取り組んでいく。

【取組期間 平成 27～29 年度】

### 2 スケジュール（案）

平成 26 年 5 月	部長会議
5～7 月	各部局との調整
8 月	プラン（素案）とりまとめ
9 月	プラン（素案）公表、パブリックコメント実施
27 年 1 月	プラン（案）とりまとめ

### 3 検討課題

#### （1）今後の改革方向

##### <主なテーマ>

- ・ マネジメント改革
- ・ 新たな発想・視点からの事業展開
- ・ 組織活力の向上 など

#### （2）歳入歳出改革の点検・検討

- ・ 主要点検事業をはじめ、出資法人、公の施設等について、今日的視点から改めて対応方針のフォローアップを実施（その他個別事業に関しても予算編成過程を通じて精査・点検）
- ・ 新たな歳入確保策、経費削減策等の検討 など